

雪の日の  
誘い受け  
メスお兄さん



雪の日の  
誘い受け

メスお兄さん





はあ...

はあ...



日が暮れる前  
確かに煙が  
見えた...

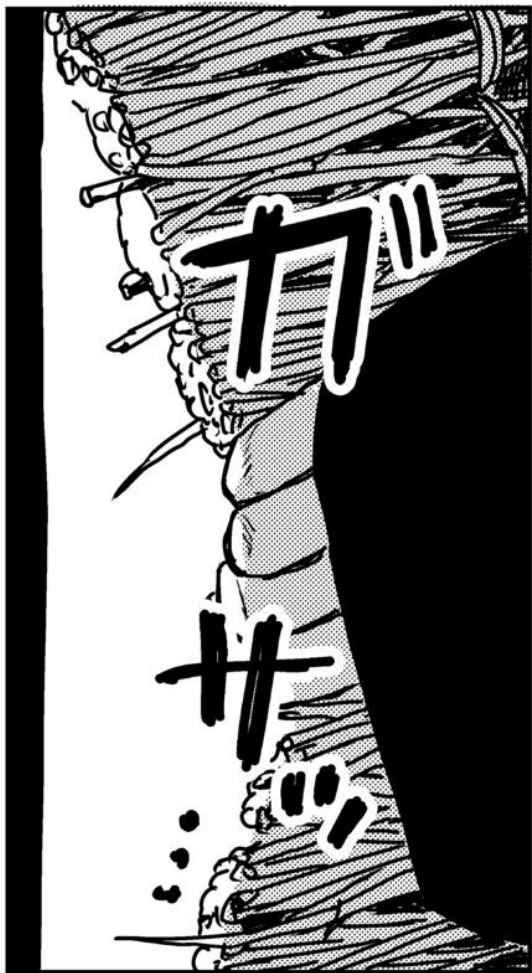


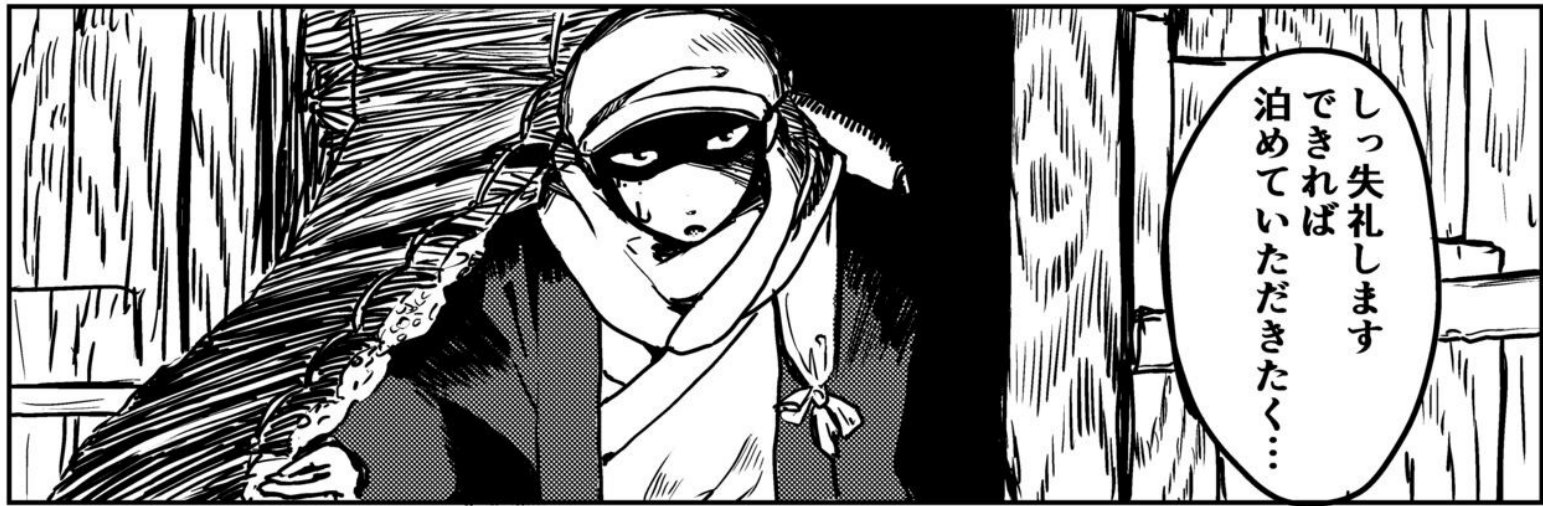
この天気じゃ  
野宿もできないから  
泊めさせてもらおう

人が住んでるに  
違えねエ...



山小屋…倉庫か？  
…だがいいぞ  
灯りがある





しつ失礼します  
できれば  
泊めていただきたく…



今日はえらく  
旅人が多いな

アンタで二人目だよ

まあ普段  
雪なんか降らねえし  
仕方ねえか

…俺も村に  
帰れなく  
なっちまった

入れていただき  
ありがとうございます

ワシ…私は  
サキワイの街から来た  
ハギと申します

おう 気にすんな小僧  
俺はリユージ  
この辺の獵師だ

なるほど…  
ではこちらの方が  
もう一人の…旅人…

で  
…す

か…

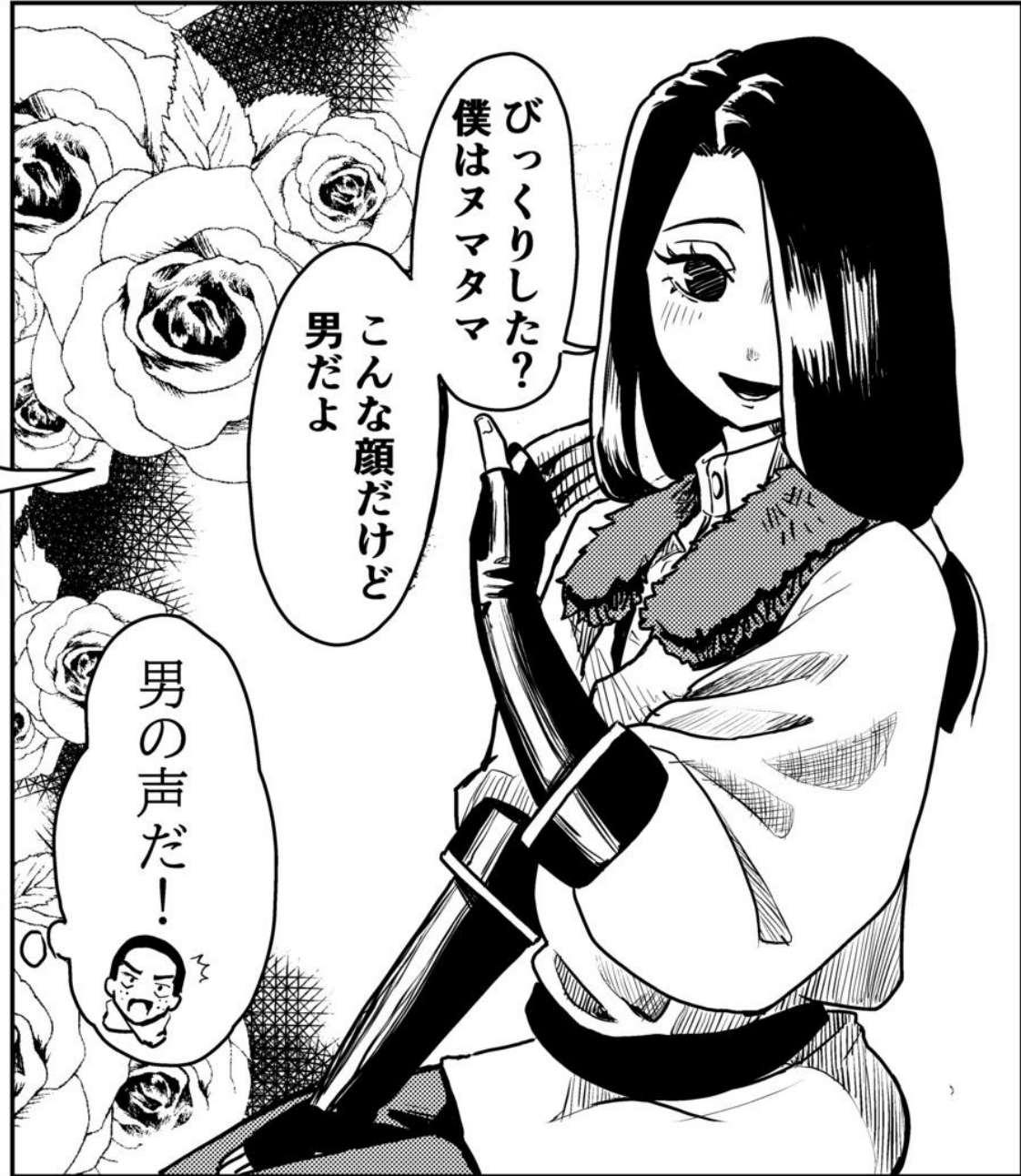
何見とれてんだ  
そいつ男だぞ

ええツ!?



僕は顔がかわいいから  
体売ったお金で  
旅してるんだ

かつ…  
体を  
ですか!?



びっくりした?  
僕はヌマママ

こんな顔だけど  
男だよ

男の声だ!

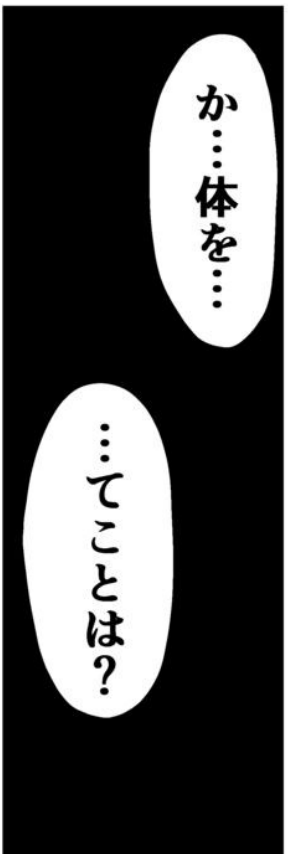


あはは!  
リユージさんは  
紳士だから大丈夫だよ  
ただし…



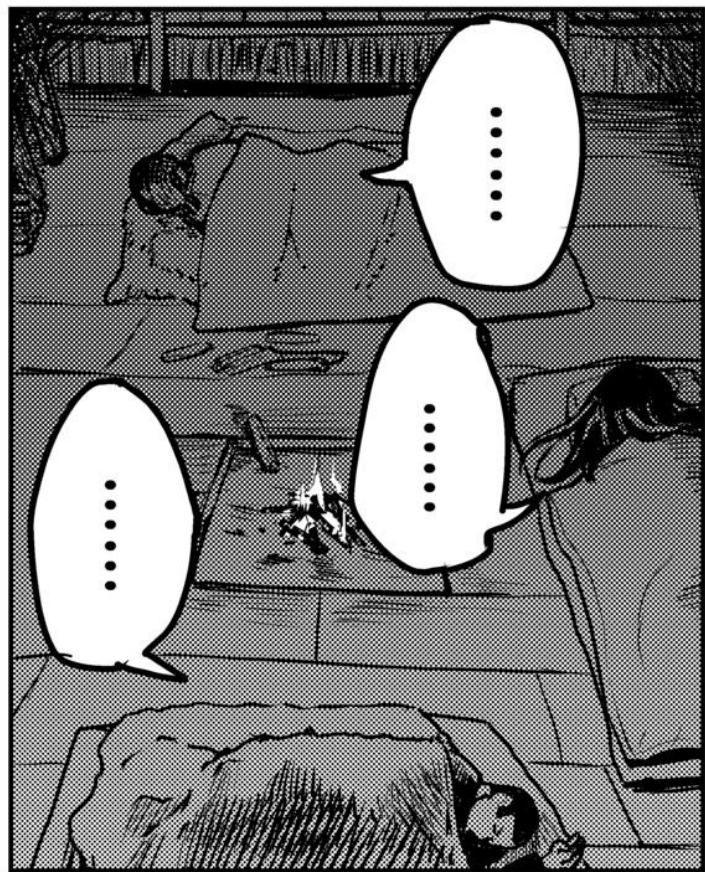
違うわ!!

お邪魔でしたか!?



か…体を…

…てことは?







朝から薪割り？  
働き者だねー

リュージさんは？



おはよー

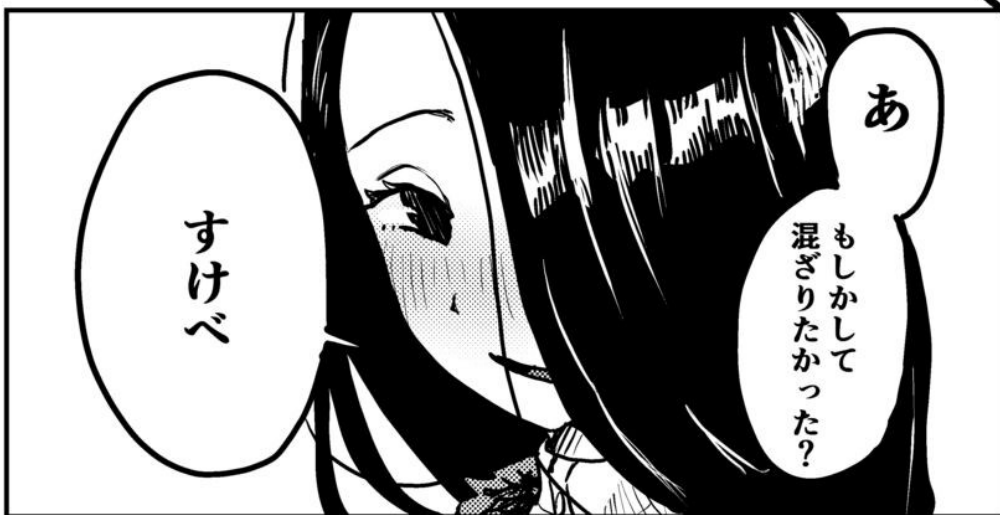


翌朝

結局  
ほとんど  
眠れなかった…



リュージさんなら  
早くから  
畠の見回りに  
行きましたよ



あ

もしかして  
混ざりたかった？

すけべ



それより…

昨晚のアレは  
一体なんですか  
はしたない！



べ…べつに  
そういうんじゃ…

ワシはたた…

さ  
ハギくんも早く  
ちんちん出して！

はい

いっいや！  
先に薪割りを…

!!

はぁ…  
はぁ…

アンター一体何を…!?

何って…  
見ての通りだけど？

はぁ

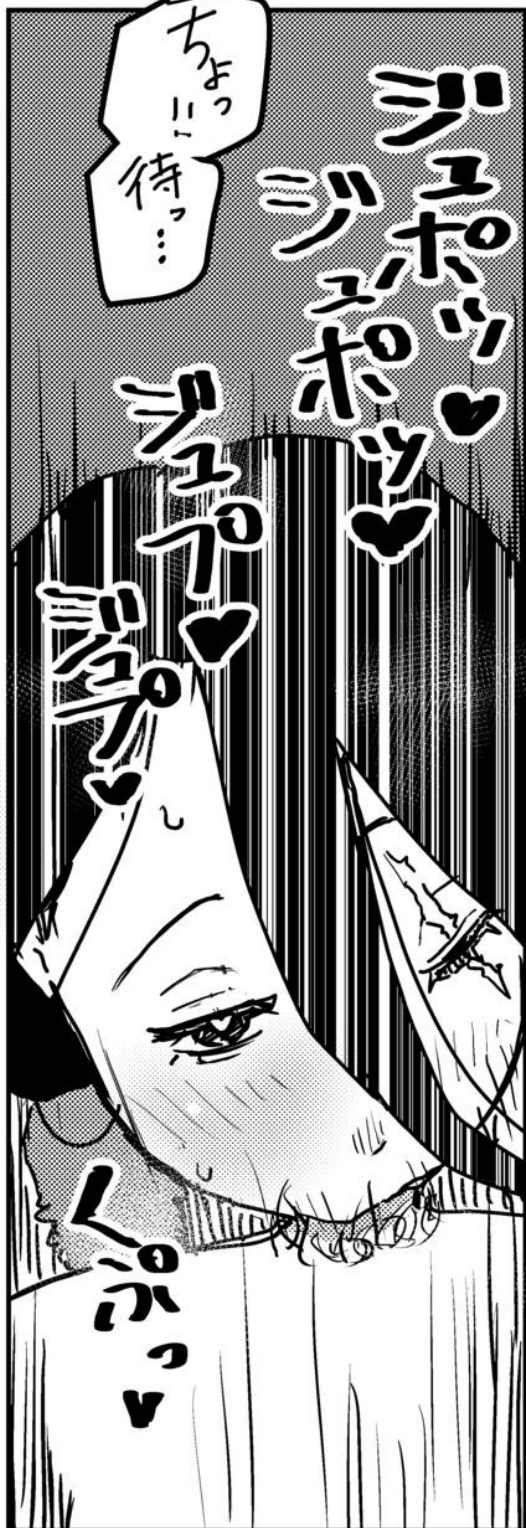
わく  
もう勃起してる

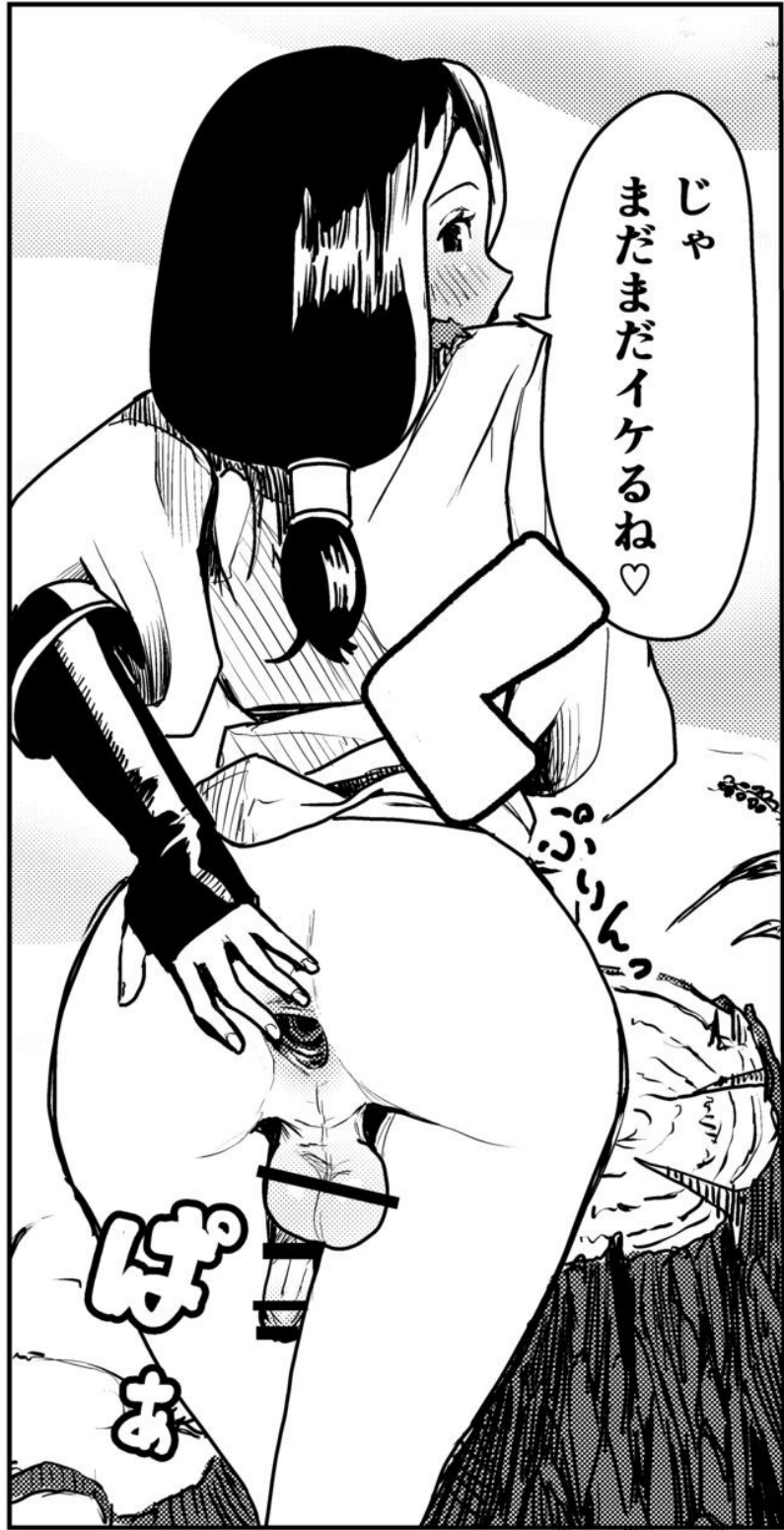
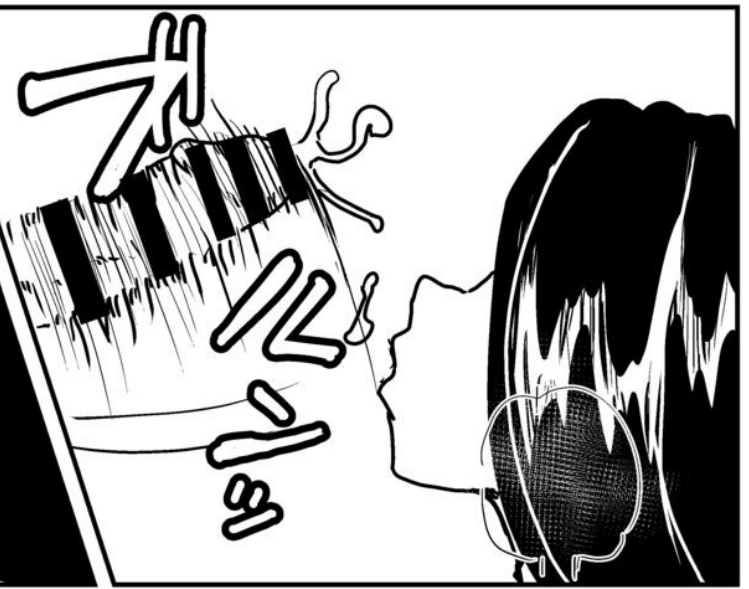
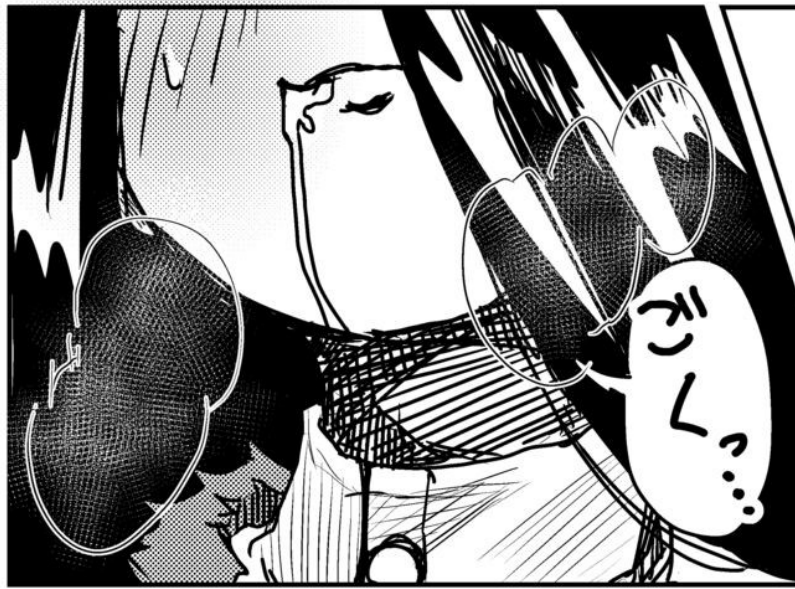
はぁ

ちよっ  
待っ

いただきま〜す！









きみのちんちんは  
あったかくて  
大きくて  
すごく  
気持ちいいよ



どう?  
ボクのおしり  
気持ちいい?

ぬっちゅ

ぬっちゅ

ヒキッ



僕が動くから  
キミは動いちゃ  
ダメだよ?

ほっちゃんっ

ほっちゃんっ

びんっ

びんっ

ふふっ  
最初はゆっくり動くね  
ほら 一人で手でする時も  
そうするでしょ?



キミばかり  
ずるいよ



ねえ!

ボクのちんちんも  
しごいてよ



かっ

あん♡

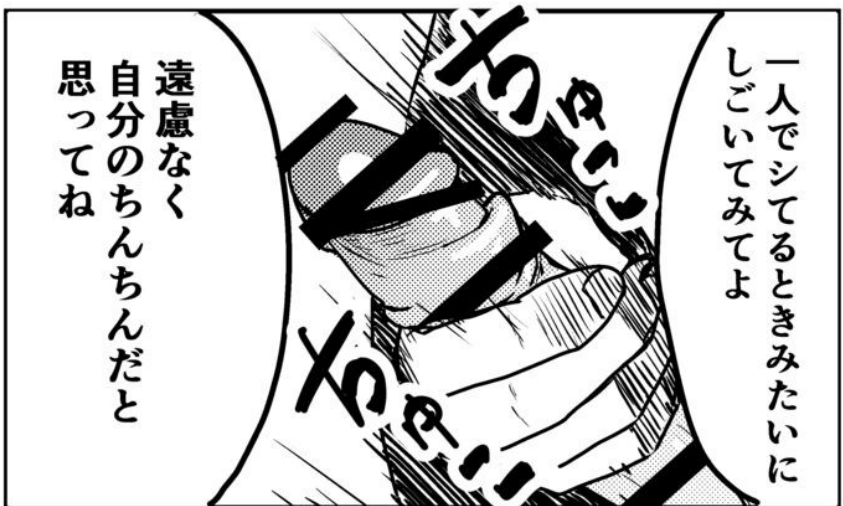


キミが普段  
どんな感じでしてるのか  
気になっちゃうな



こうすると  
ボクとキミの  
ちんちんが一本に  
繋がっちゃうた  
みたいだね♡

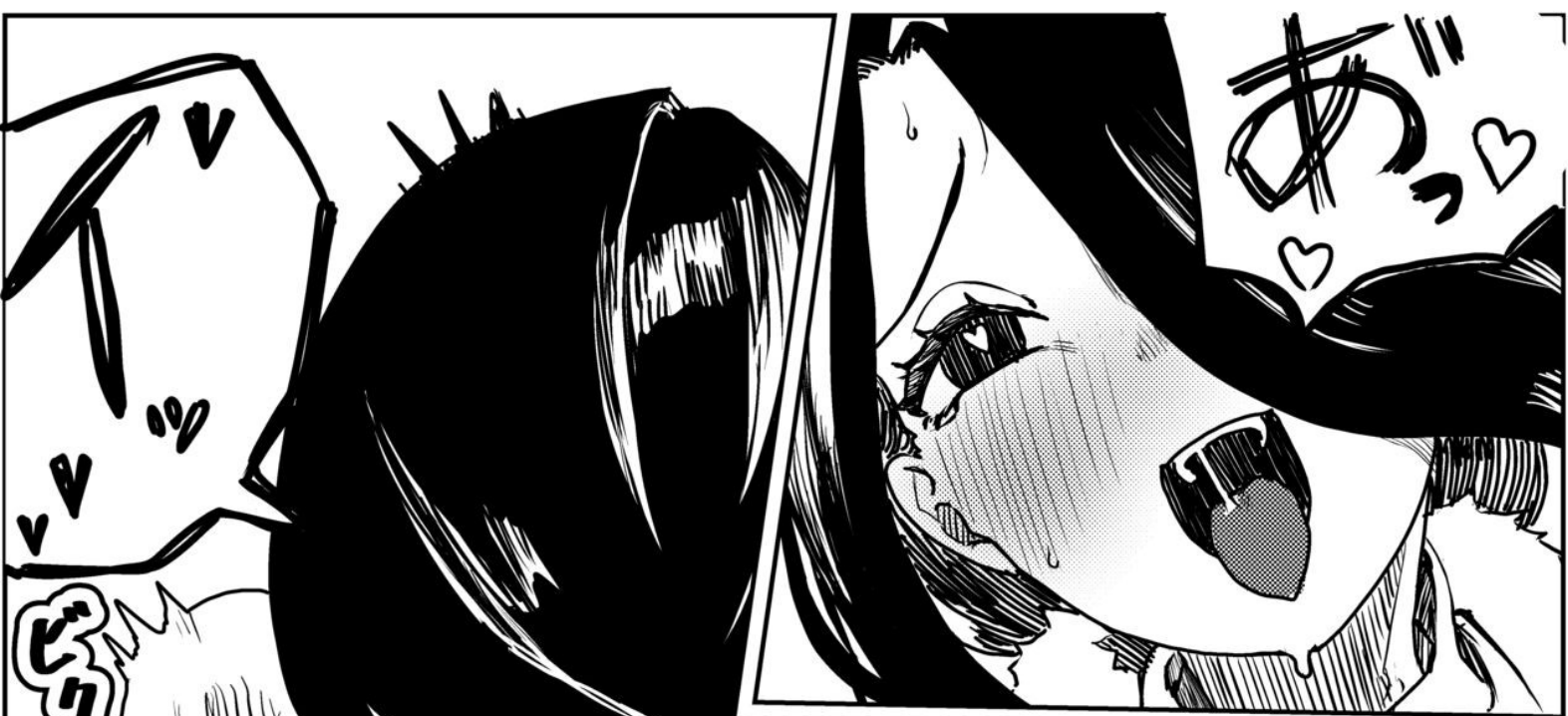
ぬちゅ♡  
ぬちゅ♡



一人でシてるときみたい  
に  
しごいてみてよ

遠慮なく  
自分のちんちんだと  
思ってね











やめんか!!

ふにゃちん  
おいし〜

みよん

聞  
いて  
る!?

ちゅぱっ

ちゅびっ

じゅるる  
るるる  
るるる  
るるる

もー  
イジワル

はっ



そんなことより  
お尻の穴舐めさせてよ

会話を  
しましように  
少しは!!



まったく…  
それよりヌマママさん  
アンタ旅の目的は？



そこに  
スザク家っていう  
金持ちの  
別荘が  
あるはずなんだ

スザク家か…  
使われてないけど  
ありますね



……  
残念だけど  
キミとは  
逆方向だよ

ボクは  
住む場所を追われて  
旅をしてるんだ

キミ  
サキワイから  
来たんでしょ？

でもなんか  
小さい頃に一度  
スザク家の人間を  
見たことが  
ありますが…

なんか  
目とかが人間とは  
違う感じで…  
妙な一族でしたよ？  
呪術で成り上がった  
って噂もありますし…

子供ながらに  
あいつらが悪人だ  
っていうのは  
感じ取れました

かかわらない方が  
いいです

ああ  
その点は大丈夫

ボクもスザク家の  
人間だからさ

ほら  
この目

まあもう  
ボク以外誰がいるか  
わかんないけどね

パパが急に死んじゃって  
会社も倒産！  
おまけに恨みも買ってるから  
隠れないといけなくてさ

ほら  
サキワイって田舎じゃん？  
だから隠れるにはうってつけ

失礼な

そこから再興しようと思  
うんだよね

うーん…  
なかなか  
大変そうな  
話ですね…

付いてくるパパの  
元部下も結構  
いそうだしね

ま  
それでもないさ  
スザク家の  
お付きの占い師とは  
連絡とれたし

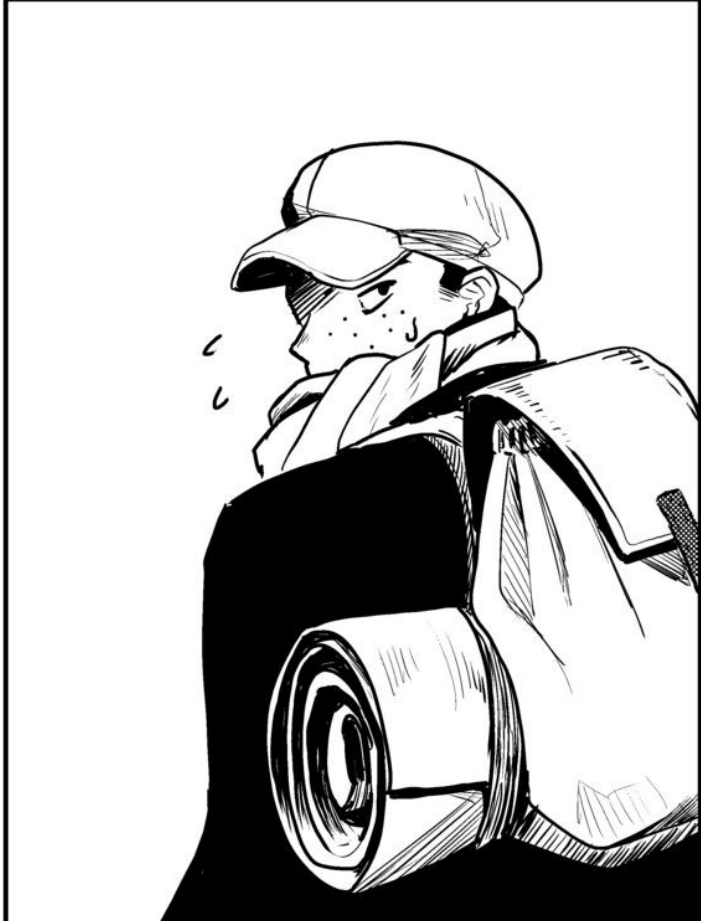
そうだ！

キミ仕事探ししてるんでしょ？  
3年経ってもいい仕事に  
ありつけなかったら  
サキワイに戻ってきなよ！

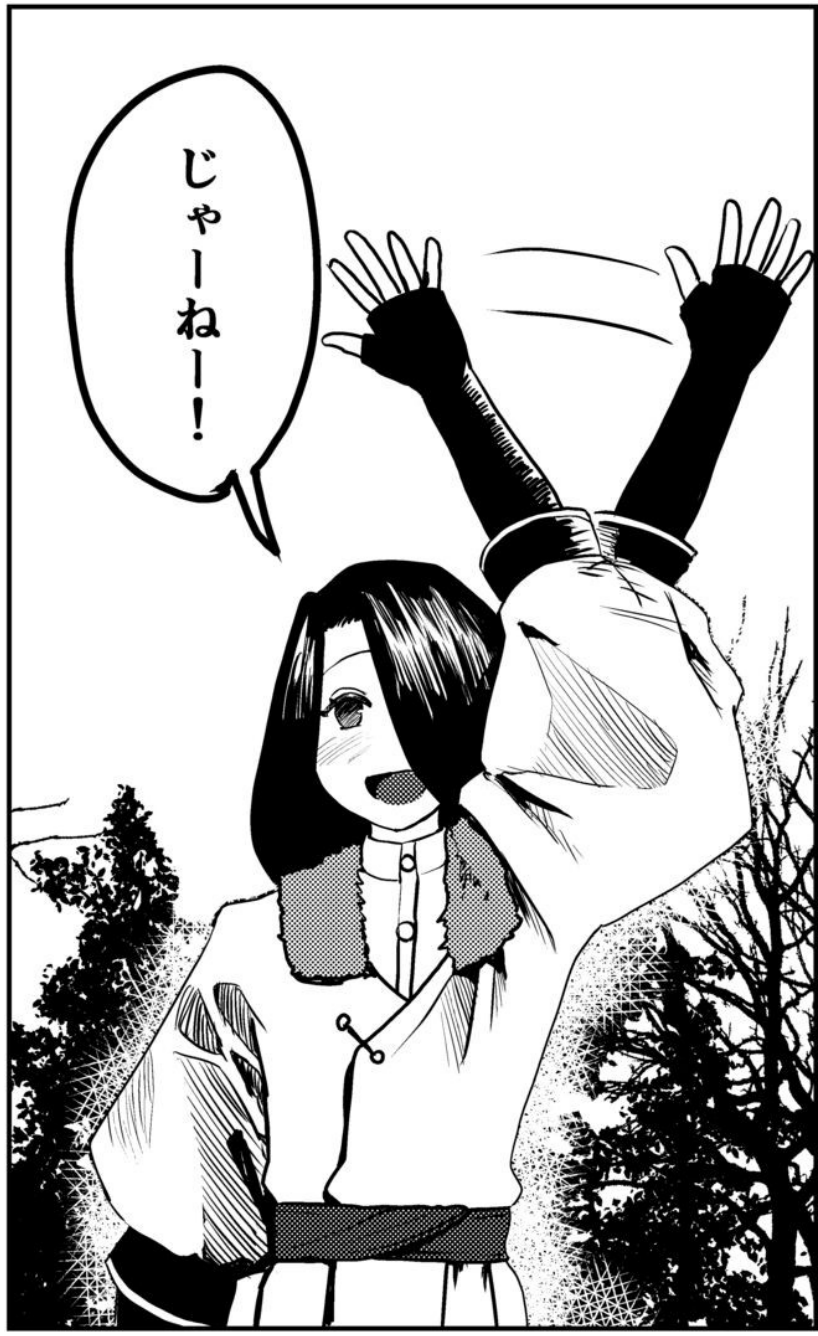
ボクが高給で  
雇ってあげる！

いいんですか？

戻ってきたら  
今度こそ  
お尻の穴  
舐めさせてねー



じゃーねー!



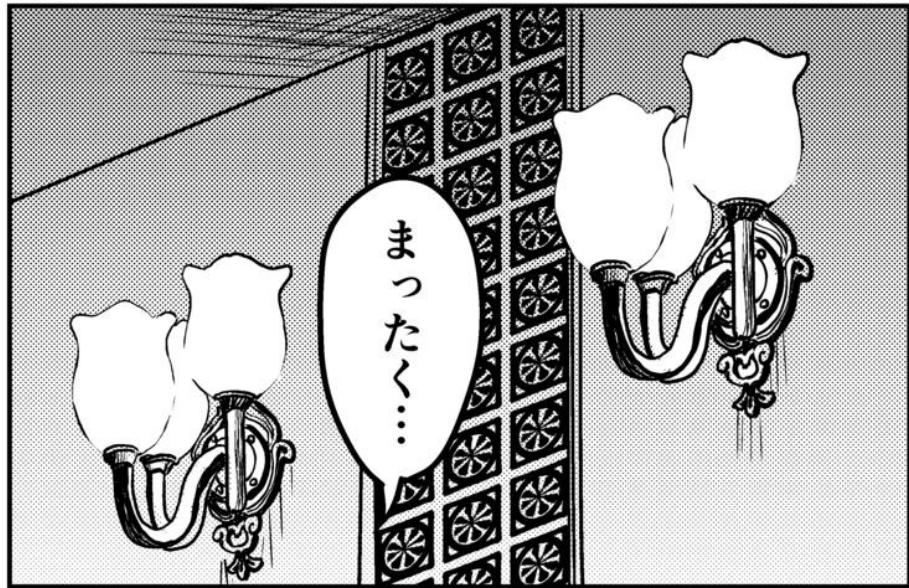
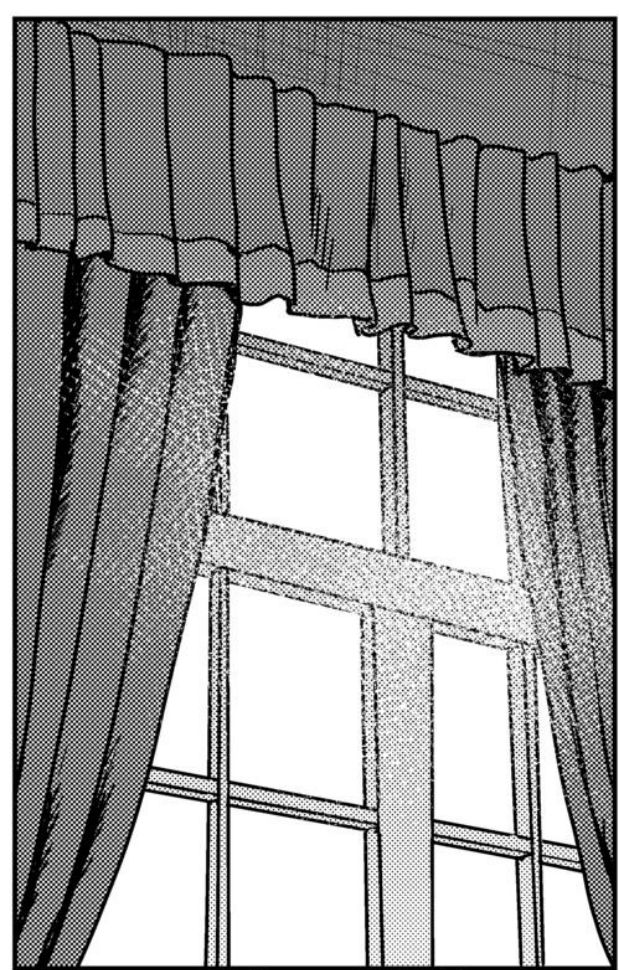
4年後  
サキワイの街  
スザク邸

庭師さ〜ん!

庭師さ〜ん!  
頭首さまが  
お呼びですよ〜!

うわ…  
今日もう  
何回目だよ…





まったく…



いったい一日  
何回やれば  
気がすむんですか  
アナタは…



仕事中  
だつてのに

ヌマタマさん!

いいじゃん  
ほらズボン脱いで!

こんにちは！スザク家の家政婦のシロタエです！  
本当は私が主役の予定でしたが…。まあいいです

私は生まれも育ちもサキワイの町ですが、スザク家の跡取りの方として頭首のヌマタマ様が来られ、気が付いたら町には立派な工場が3つも建ち、スザク家のお屋敷でも家政婦が募集されることとなりました！

「えっ!?おてんば村娘の私がメイドに!?!」  
なんて言っていたのも束の間、

「見られてるのは気にしないでいいよ。

メイドには守秘義務があるからね」

とかなんとか言いながら頭首様が新しく雇った庭師と私の見ている前で男同士のSEXを始めてしまいました!

その庭師！

私の幼馴染！

まあ頭首様には秘密です。

残りは  
おまけページ  
です！





そこの  
キミ!

お金の使いどころで  
悩んでるなら  
買って行ってよ!

お買い得だよ!

おっ  
もう挿れちゃう？

♡<sub>1</sub>♡





あはっ  
これ挿入したら  
すぐイっちゃいそ〜

うわ  
うわ

うわ  
うわ

す

ん  
ん



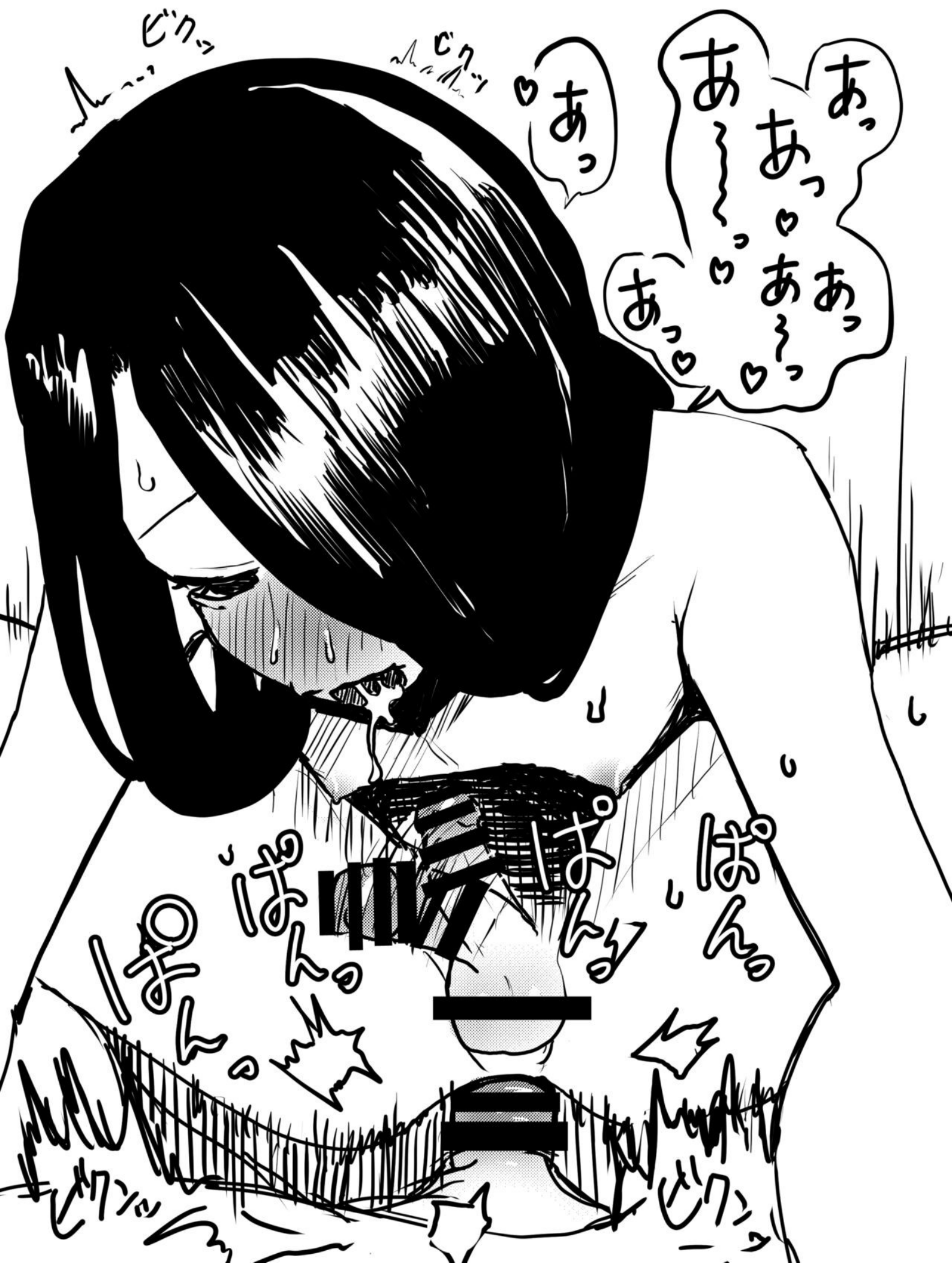
あはっ!  
すっご!

すんすん  
すんすん

すんすん  
すんすん

すんすん





びん  
びん

びん  
びん

あ♡

あ♡  
あ♡♡  
あ♡♡  
あ♡♡

おん  
おん

おん  
おん

おん  
おん

おん  
おん

おん  
おん



ふう…気持ちよかった…

また会ったら  
その時もやろうね

びくっ

びくびく

がく  
がく

ぬ  
ぽ  
る

い  
ろ  
ろ  
ろ